



CONTENTS

- ▶1面 会長・教育長あいさつ・令和元年度総会
  - ▶2面 よりよいPTA活動をめざして  
コロナに負けるな!
- 特集「子どもたちが自信をもって生きる」

- 1 重点課題を明確にしたPTA活動の推進と情報発信
- 2 子どもたちの健全育成のための各種審議会との関わりの中で、研修を深め、学び実践するPTA活動の推進
- 3 単位PTAをつなぐ要として、つながり、達成感を持ち、親としての成長を  
実感できる活動の推進

発行 所沢市PTA連合会  
編集 市P連南ブロック  
(柳瀬小学校・東所沢小学校・東中学校・安松中学校・  
柳瀬中学校) 23,500部

### 会長あいさつ

所沢市PTA連合会  
会長 藤巻 裕



日頃からPTA活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

近年、夫婦共働きの家庭も増え、ライフスタイルが年々変わり、PTA活動も時代に合った活動へと方向変換が進んでいます。そんななか、昨年度末から新型コロナウイルスの世界的蔓延により緊急事態宣言が発令し、学校が臨時休校となりました。6月には分散登校という形で学校が再開されましたが、生活が普段通りには戻っておりません。生活様式も大きく変わり、児童・生徒も不安を抱いており、各PTA本部も例年通りの活動が行えず、苦慮しているところだと思っております。

暗いニュースでいっぱいの中、当連合会は学校PTAをバックアップし、新しい生活様式の中で元気や笑顔が出る事業をコロナウイルスの動向をみて、開催していきたいと思っております。

今後も当連合会の活動に、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

### 教育長あいさつ

所沢市教育委員会  
教育長 大岩 幹夫



4月1日付けをもちまして教育長に就任いたしました。就任早々、新型コロナウイルスの感染拡大防止による小・中学校の休業、そして新しい生活様式を模索しながらの新年度のスタートとなりましたが、誠心誠意努力していく所存でございます。

所沢市PTA連合会の皆様には、日頃より本市の教育行政の推進にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。また、すべての子どもたちの健全な育成を図るため、様々な活動に取り組まれていることに対し、心より敬意を表する次第でございます。

さて、所沢市教育委員会では、「心身のたくましさ」「未来を拓く知恵」「ふるさと所沢を愛する心」の「三つの宝」を掘り起こして大きく育てることを基本理念に掲げ、社会全体で子どもを育てる地域づくりを進めることを基本目標の一つとしています。子どもたちの社会性・人間性は、地域での様々な人々との交流や自然体験、社会体験を通して育まれます。子どもは、大人の姿をみて育ち、大人の責任ある行動が地域の教育力につながっていきます。学校、家庭、地域の連携を図り、多くの人との関わりを組織する上で、PTAは大きな役割を担っています。

今後とも、皆様の活動が未来を担う子どもたちが健全に成長していくための充実した活動となることをご期待し、所沢市PTA連合会の更なる発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げます。



### 令和2年度定期総会開催

6月6日(土) 所沢市役所8階大会議室にて、令和2年度所沢市PTA連合会・定期総会が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために縮小して開催されました。

総会には、新旧の会長・副会長のみが出席し、それ以外の理事の皆様は書面表決の形で議事が行われました。

令和元年度事業報告・決算、令和2年度役員・事業計画・予算案について承認されました。(裏面に詳細)

所沢市PTA連合会会長には、藤巻裕・狭山ヶ丘中学校PTA会長が選任されました。本部役員は、右の一覧表をご覧ください。

本年度も引き続き、単位PTAの支援、審議会等の連携を進めていくことが確認されました。

また、所沢市PTA連合会70周年記念事業は、新型コロナウイルスのため、来年度に延期となりました。



役職	所属単位PTA名(ブロック)	氏名
会長	狭山ヶ丘中学校PTA会長(西)	藤巻 裕
副会長	向陽中学校PTA会長(中央)	北田靖典
	東所沢小学校PTA会長(東)	小澤 潤
	南小学校PTA会長(南)	古山智啓
	美原小学校PTA会長(北)	矢野啓介
	三ヶ島中学校校長	豊澤一美
常任理事	中央中学校PTA会長(中央)	菅原新吾
	柳瀬中学校PTA会長(東)	玉井逸朗
	北野中学校PTA会長(西)	肥沼孝則
	泉小学校PTA会長(南)	星野貴志
監事	美原中学校PTA会長(北)	瀧澤義夫
	安松小学校PTA会長(東)	佐藤武史
	小手指小学校PTA会長(西)	森泉真帆
	所沢中学校校長	岩間健一

## 医療関係者に感謝の気持ちを



新型コロナウイルスの患者の治療のために、感染の危険にさらされながらも、全力で立ち向かって頂きました医療従事者の方々へのメッセージを伝える取組が、いろいろな場所で行われています。保護者の方が、関わられた取組を紹介します。

「所沢市鍼灸師会ホームページメッセージURL」では、感謝メッセージを受け付けています。まだまだ

油断できませんが、医療関係者の使命感に心から感謝したいと思います。

### コロナに負けるな!

多くの学校のPTAが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための学校の休業措置やその後の「新しい生活様式」の導入の影響で、活動が制約されています。

ニュートンは、ペストが流行して大学が休校になった1年半の間に、あの有名な万有引力の法則を発見したそうです。

感染防止のために、どうしても生活に制約が増えてしまいますが、気持ちまでがんじがらめにならないようにしていきたいと思います。

このコロナの時代を通して、社会のしくみが大きく変わるかもしれません。そんな未来を生き抜く子どもたちのために、PTAはウイルスから子どもを守りながら、学校を支援できればと思います。

### 所沢市広報紙コンクール

昨年の8月以降に発行された広報紙が対象となります。3月の休校時の広報紙なども対象となります。審査は、今年度は担当の東ブロックと事務局で行わせていただきます。

### 市P連自転車保険

～年度途中の加入もOKです～  
自転車事故の賠償責任保険の加入は義務化されていますので、ぜひご一考ください。

## 本年度の市P連の取組について

### 1 令和2年度の活動目標

- ①重点課題を明確にしたPTA活動の推進と情報発信
- ②子どもたちの健全育成のための各種審議会との関わりの中で、研修を深め、学び実践するPTA活動の推進
- ③単位PTAをつなぐ要として、つながり、達成感をもち、親としての成長を実感できる活動の推進

### 2 重点課題

- ◎こどもたちの健全育成のために、親が協力しともに成長できるような活動となるよう、市P連として単位PTAの支援を行う
- ◎各種審議会の情報を適宜提供し、研修を深める。

### 3 具体的な活動

#### (1) 単位PTAの支援

##### ◎本年度のテーマ

#### 「効率化と充実の両立をめざして」

～すべての子どもたちのために～

##### ・単位PTA活動の「見える化」事業(継続)

- スケジュールシートの作成
- PTAの改革例の情報提供(業務の効率化と充実の両立を図る)

##### ・PTA会長によるPTA会長のための研修会

#### 第1回 新任PTA会長対象(7月22日7時)

第2回 情報交換

第3回 先進校からの実践報告

##### ・ICT化推進事業

コロナ時代の事業のあり方を見直し、市P連だけでなく、単位PTAにも役立つICT化を推進します

#### (2) 各種審議会との連携

- PTA会長・社会教育課連絡封筒
- 審議会情報の広報
- 常任理事会での検討・メールを通じて情報発信・意見聴取



### 特集

## 「今、あなたがここにいること」

～子どもたちが自信をもって生きる～

パート2 (パート1は令和2年3月発行の88号に掲載)

所沢市立教育センター

### 「いつまでゲームをしているの。早く勉強しなさい。」

学校の臨時休業が長引き、家族で過ごす時間が増えたご家庭では、バタンとドアを閉めてリビングを出ていくお子さんの後ろ姿にイライラなされる場面もあったことでしょう。

子どもたちは、周囲の人との関わりの中で日々成長していきます。時に、日常生活で自分が経験したことを、他の人に対して再現することもあります。例えば、優しく勇気づけられる言葉をかけられた子は、周りの人を励ますことができるようになり、温かい言葉に囲まれた子は、周りの人に思いやりを配れるようになります。

このような思いやりの心を育むには、(前回お話をさせていただいた)自己肯定感が土台になると考えます。では、子どもたちが自己肯定感を高め、自信を持って行動できるようになるには、どのような手立てが考えられるでしょうか。

### 「面白そうなゲームね。今度の休みにお母さんにもできそうな、教えてよ。」

こんな一言で、子どもは変わるのかと疑問に思う方もいるでしょう。でも、自分の好きなことに興味を持ってもらえたことで、子どもは自分の存在が大切にされていると感じます。また、自分の好きなことは、誰もが進んで伝えたいものです。お母さんに「面白いね。ありがとう。」と喜んでもらえたり、共感されたりすることで、自分の存在が認められたと感じるとともに、達成感や満足感を味わうこともあります。こうした小さな積み重ねから、「自分は〇〇できるかもしれない。」という自信が芽生え、いろいろなことに挑戦してみようとする気持ちが育つようになります。

新しい生活様式が定着する中、大人も子どもも、目に見えないストレスを少しずつ受けています。こんな時こそ、身近なところから温かい言葉をかけ合い、自己肯定感を育みながら、コロナ禍を生き抜く免疫力が高められるとよいですね。

